



# くさばな しんぶん

2020年10月号

2020（令和2）年  
10月2日発行  
通算第293号

## 《幼稚園の日々 ― 「遊ばせるか」「教え込むか」》

私はあまりテレビは見ない方の人間に入るかと思いますが、このところの「コロナ」の日々、毎週土曜日の「黄さんシリーズ」は毎回欠かさず楽しんでいます。登場する人びとが、みな心優しく思いやり深いのに心を動かされています。日々の商売と目の前の仕事にあくせくしながらも、笑いながら時に涙しながら生きている人びとの姿に、深い安心感を覚えます。

- とここで全く話は変わります。ある本の一節を紹介しします。
  - 幼児教育の目的とは…
    - …小学校に入学してから勉強に熱心に取り組めるよう、精神的そして肉体的な準備を施すのが目的と考えてよい。さらに、幼児期は人間としての性格や生活の仕方の 初期形成期でもあるので、学業以外のことを多く教え、学ばせるのが望ましい。
    - …幼児教育の目的を3つにまとめると、①小学校教育にスムーズに入るための準備、②人間として望ましい人格形成、③一人て日常生活ができるための訓練と指導、となる。
  - 「先取り保育」（小学校入学後の教育を幼稚園や保育園で行う）と「自由保育」とどちらが良いか…
    - …「読み得点」「書き得点」では差がなく「語彙（こい）得点」では「自由保育」の方が得点が高い（入学後の学力を高める可能性がある）。
  - しつけの仕方＝楽しく自由に育てる「共有型」と厳しく育てる「強制型」とではどちらが良いか…
    - …「共有型」（「思いっきり遊ばせる」「遊びの時間を子どもとともに過ごす」「子どもの興味や好きなことに集中して取り組ませる」の方が難関試験突破組では「強制型」よりも多い。

（橋本俊昭「教育格差の経済学」NHK出版新書 2020 下線部は山城）  
もちろんこれはある研究者の見解を示したものに過ぎませんが、ひとつの「証拠」を示してはいますので、参考として紹介してみました。遊びを中心に据えるか事前に先取りして勉強を教えておくか。このことは保護者にとっても悩ましいことだと思います。  
くさばな幼稚園はこうした流れの中で、開園以来、「遊びと生活」に価値を置いた保育を一貫して中心に据えてきました。この道は奥が深く、人とは何か、生きるとは何か、という哲学的命題と根底でつながる道でもあります。その帰結として、地味な保育となっています。そのことはじゅうぶん自覚しています。また宣伝が下手なこととは自他ともに認めているところです。日々の活動の中に、「先取り保育」が入り込んでいる姿は幼稚園本来の姿ではない、と思います。そんな時間的余裕は幼稚園にはない、と考えています。それを取り込むと、幼稚園で人間としてのあり方や生活の仕方を学んで貰う時間が無くなってしまいます。こうした考え方が今の世の多数派を占めるとは残念ながら思いますが、私立の基盤の弱い小規模園としてこれからも生きていけるだけの賛同はいただきたい、ということが切なる願いです。  
黄さん風に言えば、そのあたりが「小規模園の幸（つれ）えところよ」となりましょうか。 理事長 山城 清邦

## 給食の「おかわり」について

短い夏休みを終え、2学期も先月1か月が経ちました。幸いなことに現在においても幼稚園ではお父さま、保護者の皆さま、職員とその家族に新型コロナウイルスの感染者、濃厚接触者が見られず安心しております。今後予防に努めながら保育をしていきたいと思っております。引き続きご協力をお願いいたします。  
さて、1学期の個人面談で給食のおかわりについて要望がありました。給食は必要栄養量について、エネルギー・たんぱく質・脂質について、それぞれきちんと計算したうえで提供しています。しかし、栄養士と担任等でさまざまな角度から議論をした結果、結論としては、個人差があるところからおかわりを提供するというにしました。その日の献立によってではありませんが、主食を中心にお子さまが希望した場合に提供しています。人気のメニューの日にはたくさんのおかわりが出ますし、野菜がメインのおかずの日には売れ行きがイマイチだったり・・・と献立によってもおかわりの様子が違いますので、お子さまの食事の様子を見ながら量の調節等をして提供しています。過栄養も問題ですからお子さまの成長に合わせた食事の量が提供できるようにして行きませんが、ご家庭での食事の様子はいかがでしょうか？何かお気づきのことがございましたら、担任や栄養士にご相談ください。

## 秋まつりを行いました

30日に秋まつりを行いました。9月のお便りでもお知らせしましたが、今年は新型コロナウイルス感染症のため地域のお祭りも軒並み中止となっていることや、お父さまたちが全園児で楽しめるイベントができないかと考え行いました。年長児のお神輿と年少、年中児の鳴子の応援で景気を付けた後、職員のおめん屋さん、輪投げゲーム屋さん、ヨーヨーすくい屋さんそして、年長児の製作した金魚すくい屋さんでお祭りごっこを楽しみました。かわ組さんは担任と、もり、やま組さんはペアとなってやま組さんがリードしながらそれぞれのお店を回りました。日常の保育とは違った日を体験し、お子さまの笑顔がたくさん見られた1日となりました。色々と制約のある中で園生活が続きますが、これからも引き続きお父さまたちが元気に毎日を過ごせるように保育を考えたいと思います。

## ご理解をお願いいたします

先日、年長児の保護者の方から、『今年度誕生会での保護者の給食参観ができないのは残念。1回は子どもと一緒に給食を食べられたらいいのですが…』との要望をいただきました。例年ですと、誕生会の日に誕生児の保護者の方にお子さまと給食を召し上がっていただいていたのですが、昨今の情勢により今年度はやむを得ず中止としました。保護者の皆さまが日ごろから園の感染拡大予防にご協力してくださっているおかげで、これまで一人も罹患者が出ていない状況です。しかし、市内や近隣の市の幼稚園や保育園では、PCR検査を受けた園児・職員や罹患者が続出しているのが現状です。その中でお子さまの命を預かる立場としましては、感染予防としてできる限りのことは行わなくてはならないと考えます。職員も緊張の中で毎日の保育を行っています。保護者の皆さまのお気持ちもよくわかりますが、終息を迎えるまで給食参観につきましては、今後もこれまでどおり中止とさせていただきます。お子さまたちも園の中で感染予防をしながら生活しています。時には我慢をすることもあります。それでも本当に健気に頑張っています。保護者の皆さまにも現在の情勢をよくご理解いただいた上で、お子さまの頑張りや涙を汲み取っていただき、これからもご協力いただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

園長 影山 幸江



## 私のおすすめの絵本

（この欄は教職員が交代で担当します）

『そらの100かいだてのいえ』 偕成社 いわいとしお

人気の100かいだてシリーズ！

我が家には、うみの100かいだてのいえもあり、娘が大好きで毎晩読んでいた時期がありました。

そらの100かいだてのいえは、ツビくんが、ひまわりの種を見つかるころからお話しが始まります。ひまわりの種から、お花が咲くまでに空のいろいろなものに出会いますが、綺麗なお花が咲くためには、何が必要なのか、お話をしていると自然に分かってくる内容になっていて、100かいだてシリーズならではの、細かな絵も見どころです。

我が家の絵本タイムは、読み終わったあとに、クイズが出ます。「最初の階に出てきた、空のものは何だったでしょう？」さて、答えが分かる人はいるかな～？

クイズタイムを繰り返していると、すごく集中して絵本を見てくれるようになりますよ！

石井 香央里

## 4月に配信したイラストを再度掲載します

# いぬでもできる ひとものがんばれ!

てあらい



WASH HAND

うがい



GARGLE

かおさわらない



DON'T TOUCH FACE

よくたべ



EAT WELL

よくねて



GOOD SLEEP

いえにいる



STAY HOME